

## 多様な言語背景を持つ学習者の学習意欲を高める漢字指導の工夫

河野あかね(つくばインターナショナルスクール)

### 実践の場の特徴

インターナショナルスクールには、多言語多文化を背景とする年少者の日本語学習者が在籍しており、日本語学習の目的や意欲はそれぞれ異なる。当校では、時間割や学習者の認知レベルを考え、クラス単位で日本語授業が行われているため、クラス内には様々な日本語能力や日本語学習の目標を持つ学習者が混在している。

### 実践の目標

そのため、学習者の言語背景や日本語能力のレベル差を踏まえた上で、各学習者が日本語学習への意欲を維持することができるような授業を展開することが理想である。そこで、言語背景やレベル差のある学習者が混在する状況の中でも、学習者がそれぞれに意欲を高め、さらに主体的に学習に取り組めるような実践を行うことを目標としている。

### 具体的な実践の内容とその過程

様々な学習活動の中で、特に漢字学習は学習者の言語背景や性格により好き嫌いがはっきりと分かれる。そこで学習者がより意欲的かつ主体的に取り組めるよう、多様な学習者に対応し得るワークシートを作成したり、学習者自身が達成感を得られ学習を楽しく感じられるような教材を検討したり、また、外部試験への挑戦など明確な目標を立てさせたり、内容を工夫している。

### 結果と考察(目標の達成度)

実践した種々の取り組みでは、それぞれ学習者が意欲的かつ主体的に漢字学習に取り組む様子が見受けられた。しかし、それらは異なる言語背景を持つ学習者全員に一様に効果があるとは言えず、また、その意欲を長期的に継続させることはなかなか難しい。各取り組み内容を振り返り、その効果と改善点について考察する。